

エコアクション21

# 環境活動レポート

令和6年度

対象期間 令和6年4月～令和7年3月

発行日 令和7年4月1日



〒059-1372 北海道苫小牧市字勇払285番地1

TEL 0144-56-2456

FAX 0144-56-3737

社長	環境管理責任者	環境事務局	作成者

## 1. 事業活動の概要

### 1 会社名 及び 代表者名

株式会社トマウエーブ  
代表取締役社長 熊谷 賢

### 2 所在地

本 社 北海道苫小牧市勇払285番地1  
新開本店 北海道苫小牧市新開町2丁目2番10号

### 3 環境管理責任者 及び 環境管理担当者

環境管理責任者 正 代表取締役社長 熊谷 賢  
副 業務課 大西 圭一

### 4 事業内容

一般廃棄物収集運搬、一般廃棄物処理業(廃プラスチック)  
産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業  
肥料・堆肥製造業、バイオガス発電事業

### 5 事業の規模

設 立 平成5年9月7日  
資 本 金 1,000万円  
事業年度 7月～3月  
社 員 数 本社 6名 新開本店 10名 契約社員 4名 派遣社員 6名 計 26名  
延べ面積 本社 3,699.6㎡ 新開本店 3017.29㎡ 計 6,716.89㎡

令和6年度 売 上 高 万円

産業廃棄物収集運搬年間量	795.35t
産業廃棄物処分年間量	10,557.63t
一般廃棄物収集運搬年間量(廃プラスチック類)	0t
一般廃棄物収集運搬委託業務(家庭ごみ)	
可燃ごみ=2,979.48t 不燃ごみ=99.27t プラスチック=400.94t	
資源(缶・びん・ペットボトル・紙パック)=293.97t 紙類=209.49t	
一般廃棄物処分年間量(廃プラスチック類)	0t

## 6 運搬車両の種類・台数

ダンプ	2台	脱着装置式コンテナ車	1台
ダンプ(クラム車)	1台	キャブオーバー	1台
塵芥者(予備車含む)	5台		

## 7 認証登録

対象事業所	勇払本社、新開本店
対象事業	一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物処理業 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業 肥料・堆肥製造業、バイオガス発電事業

## 8 許可内容

産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 第00110014665号

許可年月日 令和6年2月27日 許可の有効年月日 令和11年2月23日

事業の範囲

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、  
動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリート及び陶磁器くず、鉱さい、  
がらき類、動物のふん尿、ばいじん。

産業廃棄物処分業許可証

許可番号 第0120014665号

許可年月日 令和6年6月14日

許可の有効年月日 令和11年(2024年)6月13日

事業の範囲

乾留(廃プラスチック類)、肥料の製造(乾燥(汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物残さ)、発酵(汚泥、動植物性残さ))、飼料の製造(粉碎(動植物性残さ)、混合(汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ))、肥料及びバイオガスの製造(発酵(動植物性残さ、汚泥、廃酸、廃アルカリ))。

施設の種類 汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さの乾燥施設

設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1

設置年月日 平成8年12月25日

処理能力 70.0 m<sup>3</sup>/日(8時間)、8.75 m<sup>3</sup>/時間

許可年月日 平成10年7月16日(変更許可)

許可番号 胆環生第3185-3号

施設の種類 廃プラスチック類の乾留施設

設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1

設置年月日 平成8年12月25日

処理能力 2.4 t/日(8時間)、0.3t/時間

施設の種類 汚泥、動植物性残さの発酵施設

設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1

設置年月日 平成24年1月31日

処理能力 10.0 t/日(8時間)、1.25t/時間

施設の種類 動植物性残さの粉碎施設

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さの混合施設

設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1

設置年月日 平成28年5月31日

処理能力 16.4 t/日(8時間)、2.05 t/時間

施設の種類 動植物性残さ、汚泥、廃酸、廃アルカリの発酵施設

バイオガス施設

設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1・285番地2

設置年月日 平成30年8月20日

処理能力 20.0 t/日(8時間)、2.50 t/時間

施設の種類 保管場所 1  
設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1  
面積 147.3m<sup>2</sup>  
種類 汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ  
保管上限 150.0m<sup>3</sup>

施設の種類 保管場所 2  
設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1  
面積 90.0m<sup>2</sup>  
種類 汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ  
保管上限 60.0m<sup>3</sup>

施設の種類 保管場所 3  
設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1  
面積 150.0m<sup>2</sup>  
種類 廃プラスチック類  
保管上限 246.5m<sup>3</sup>  
高さ 2.7m

施設の種類 保管場所 4  
設置場所 北海道 苫小牧市勇払字289番2  
面積 200.1m<sup>2</sup>  
種類 廃プラスチック類  
保管上限 234.9m<sup>3</sup> (11月～3月)  
高さ 3.0m (11月～3月)

施設の種類 保管場所 5  
設置場所 北海道 苫小牧市勇払字289番2  
面積 56.2m<sup>2</sup> (4月～10月) 394.4m<sup>2</sup> (11月～3月)  
種類 廃プラスチック類  
保管上限 35.0m<sup>3</sup> (4月～10月) 576.6m<sup>3</sup> (11月～3月)  
高さ 3.0m

施設の種類 保管場所 6  
設置場所 北海道 苫小牧市勇払字285番地1  
面積 20.0m<sup>2</sup>  
種類 汚泥、動植物性残さ、廃酸、廃アルカリ  
保管上限 10.0m<sup>3</sup>

施設の種類 保管場所 7  
設置場所 北海道 苫小牧市字勇払285番地1  
面積 20.0m<sup>2</sup>  
種類 汚泥、動植物性残さ  
保管上限 10.0m<sup>3</sup>

施設の種類 保管場所 8  
設置場所 北海道 苫小牧市字勇払285番地1  
面積 15.75m<sup>2</sup>  
種類 汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ  
保管上限 13.7m<sup>3</sup>

施設の種類 保管場所 9  
設置場所 北海道 苫小牧市字勇払285番地1  
面積 12.0m<sup>2</sup>  
種類 汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ  
保管上限 11.34m<sup>3</sup>

一般廃棄物収集運搬業許可証 許可第 16 号 (令和4年4月1日更新済み)  
許可年月日 令和 6 年 4 月 1 日 許可有効期限 令和 8 年 3 月 31 日  
事業の範囲 一般廃棄物(特別管理一般廃棄物・浄化槽汚泥等を除く)  
収集区域 苫小牧市内全域

一般廃棄物処分業許可証 許可第 17 号 (令和4年4月1日更新済み)  
許可年月日 令和 6 年 4 月 1 日(更新) 許可有効期限 令和 8 年 3 月 31 日  
事業の範囲 一般廃棄物(廃ゴムタイヤ、汚泥(道内他自治体から排出される農業集落排水脱水汚泥(ただし随時行政間での協議を必要とする))、動植物性残さ  
処分区域 北海道 苫小牧市字勇払285番地1  
乾留施設(乾留缶2基)  
処理能力(1基につき)2.4t / 日(8時間)、0.3t / 時間  
乾燥施設  
処理能力 70m<sup>3</sup>/ 日  
破碎施設(動植物性残さ)  
処理能力 16.4t / 日  
北海道 苫小牧市字勇払285番地2  
発酵施設(動植物性残さ)  
処理能力 20.0t / 日

肥料登録証

肥料の名称 トマックス  
登録番号 生第80606号  
登録年月日 平成12年10月1日 登録の有効期限 令和9年9月30日  
肥料の種類 混合汚泥肥料

肥料の名称 グリーンウェーブ  
登録番号 生第84425号  
登録年月日 平成15年10月10日 登録の有効期限 令和9年10月9日  
肥料の種類 混合汚泥肥料

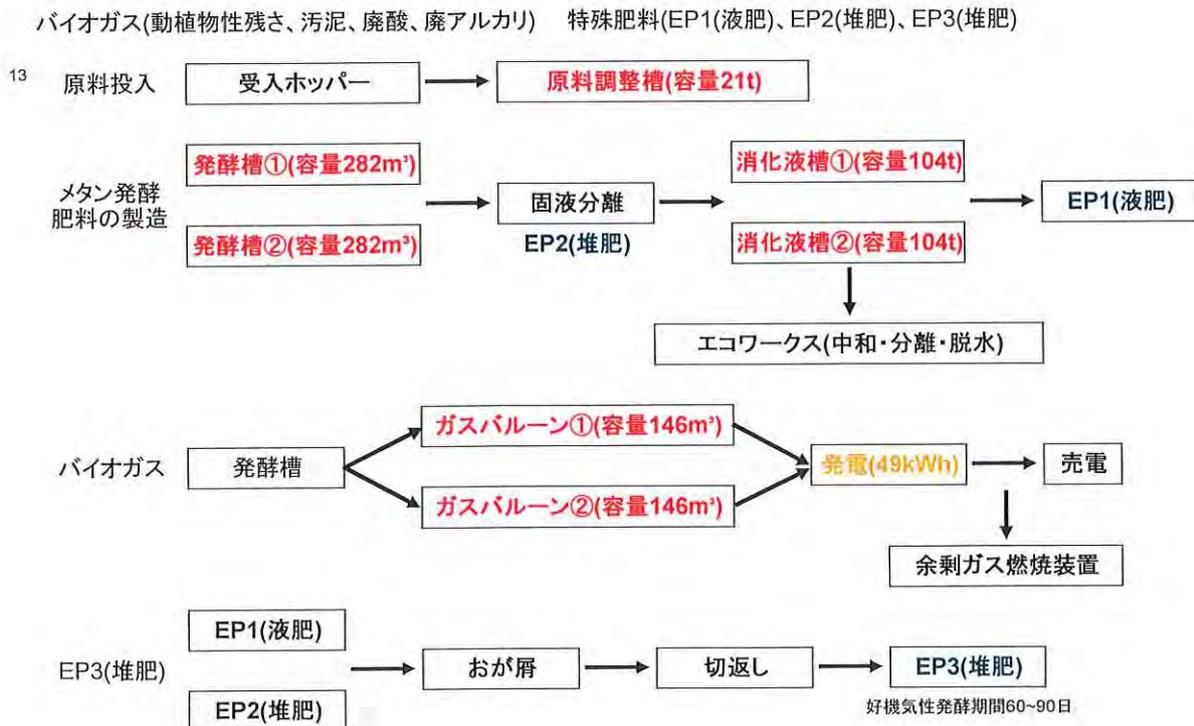
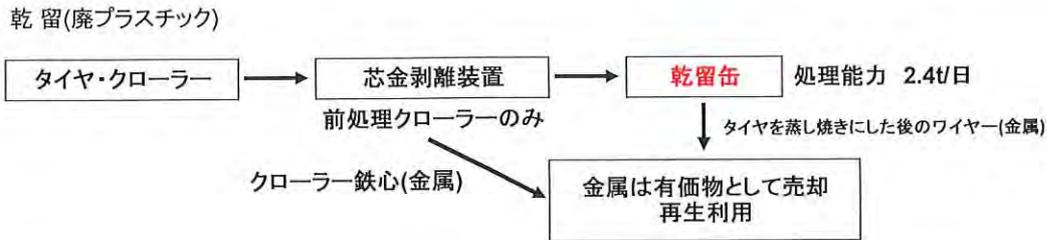
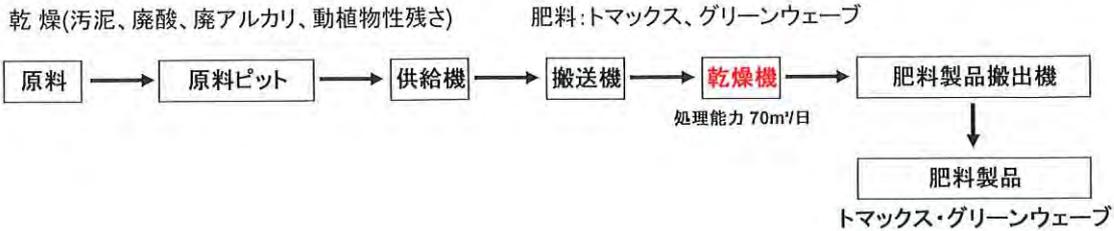
肥料の名称 ベジマックス  
登録番号 生第927818号  
登録年月日 平成24年8月10日 登録の有効期限 令和9年8月9日  
肥料の種類 汚泥発酵肥料

特殊肥料の名称 EP1(液肥)  
受理年月日 平成31年2月18日  
肥料の種類 堆肥  
所在地 北海道苫小牧市字勇払285番地1・285番地2  
株式会社トマウェーブ エボジェネ苫小牧

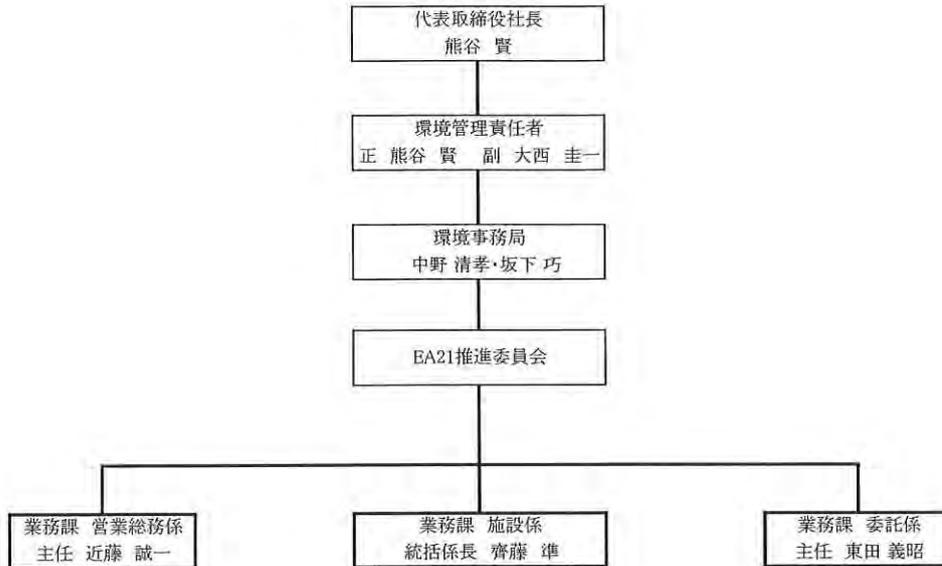
特殊肥料の名称 EP2(堆肥)  
受理年月日 平成31年2月18日  
肥料の種類 堆肥  
所在地 北海道苫小牧市字勇払285番地1・285番地2  
株式会社トマウェーブ エボジェネ苫小牧

特殊肥料の名称 EP3(堆肥)  
受理年月日 平成31年4月10日  
肥料の種類 堆肥  
所在地 北海道苫小牧市字勇払285番地1・285番地2  
株式会社トマウェーブ エボジェネ苫小牧

## 2. 処理工程及び肥料生産工程



### 3. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
所属責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自所属における環境方針の周知</li> <li>自所属の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自所属に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自所属に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自所属の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 4. 環境方針

### 【企業理念】

トマウエーブは、環境事業を通して社員のやりがいと成長を育むとともに、お客様に快適さと満足を提供し、地域経済と社会の発展に貢献します。

### 【環境方針】

わたしたちは生産・利用・廃棄・リサイクルの全行程にてゼロ・エミッションに取り組んでおります。地域及び社会活動の発展の中で、わたしたちの使命は、それらを支える環境技術の開発と提供です。求められる環境性能を十分達成し、独創的な技術開発を一步ずつ確実に進めて参ります。また、社会的責任を果たし信頼される企業として、法令その他推奨されるガイドラインを遵守します。

### 【行動方針】

- ・ 社会活動の基盤を支える環境技術を創造します
- ・ 「不要な廃棄物を利用価値ある製品」へ姿を変えろという発想で、当プラントの推進・運用をしていきます
- ・ 汚泥・動植物性残さは肥料化、廃プラスチックは燃料化へと、それぞれの資源を無駄なく有効活用化、ゼロ・エミッションを推進していきます
- ・ 車両燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めていきます
- ・ 電気・水資源の使用量削減に努めていきます

この環境方針を達成するために、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行ない継続的な改善に努めていきます。

#

令和3年 8月1日  
株式会社トマウエーブ  
代表取締役社長 熊谷 賢

## 5. 環境目標・活動計画書及び実績値

活動内容		活動計画												
		R6年度実施												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
二酸化炭素排出量削減	工場・事務所 新開本店	計画	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
化石燃料使用量削減 軽油・ガソリン・灯油	工場・事務所 新開本店	計画	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○
電気使用量削減	工場 事務所	計画	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
水道使用量削減	工場 事務所	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業廃棄物排出量削減	工場 事務所	計画	受けた産業廃棄物は100%再資源化の為、削減不可のため目標設定していない											
化学物質使用量削減	工場 事務所	計画	使用しておらず削減不可のため目標設定していない											

R5年度環境目標：化石燃料使用量・水道使用量・電気使用量

	二酸化炭素排出量 削減	化石燃料使用量 削減	電気使用量削減	水道使用量削減
令和4年度実績値	875,922kg-CO <sub>2</sub>	249,364L	389,593KWh	1,842m <sup>3</sup>
令和5年度目標値 前年同様	875,922kg-CO <sub>2</sub>	249,364L	389,593KWh	1,842m <sup>3</sup>
令和6年度目標値 前年同様	875,922kg-CO <sub>2</sub>	249,364L	389,593KWh	1,842m <sup>3</sup>
令和7年度目標値 前年から1%削減	867,163kg-CO <sub>2</sub>	246,870L	385,697KWh	1,824m <sup>3</sup>

※排出係数 北海道電力(株)0.64値を使用

## 環境活動計画の内容

## ①車両燃料使用量の削減

- ・急発進、急ブレーキなど急の付く運転はしない。
- ・適正な回転数を維持する。・空ぶかしをしない。
- ・日常点検を行い、異常への対応を早急に行う。

## ③電力使用量の削減

- ・冷房設定温度25℃以下の徹底。
- ・こまめにスイッチを切る。

## ②灯油使用量の削減

- ・暖房設定温度22℃以下の徹底。
- ・助燃バーナーの使用の的確化。

## ④水道使用量の削減

- ・使用後は直ぐに止める。
- ・洗車時の高圧洗浄機の使用。

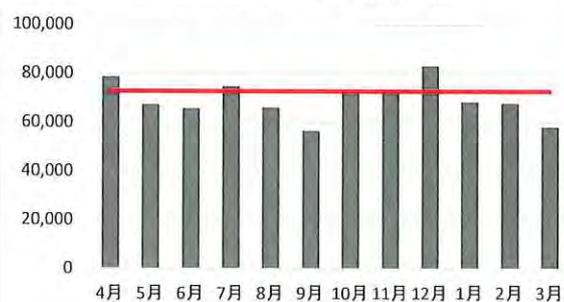
## 5. 環境目標・活動計画書及び実績値

平均値(月)

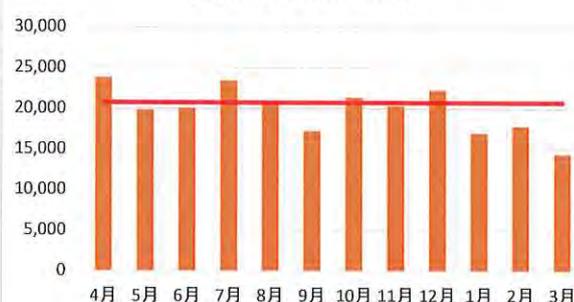
二酸化炭素排出量 (kg-co <sub>2</sub> )	72993.50	化石燃料使用量(ℓ)	20,780.33	電気使用量(kWt)	32,166.08	水使用量(m <sup>3</sup> )	153.50
-----------------------------------	----------	------------	-----------	------------	-----------	-----------------------	--------

R6年度使用料

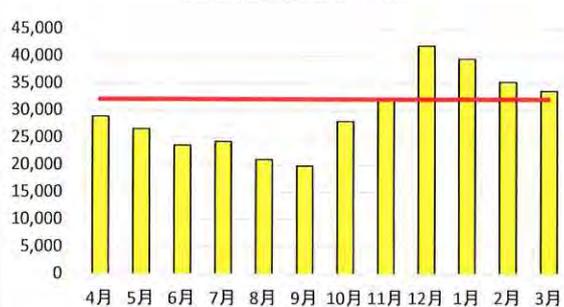
第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計値	単位
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
78,599.00	67,116.56	65,518.35	74,626.40	65,935.50	66,307.79	71,819.60	72,159.47	83,031.84	68,103.53	67,528.59	57,923.84	828,670.47	kg-co <sub>2</sub>
23,816	19,862	20,070	23,463	20,805	17,251	21,378	20,355	22,284	16,946	17,825	14,360	238,415	ℓ
28,911	26,571	23,582	24,329	20,999	19,848	28,026	32,232	41,908	39,545	35,242	33,633	354,826	kWt
68	68	84	82	125	126	122	122	132	98	92	72	1,191	m <sup>3</sup>

二酸化炭素排出量(kg-co<sub>2</sub>)

化石燃料使用量(ℓ)



電気使用量(kWt)

水使用料(m<sup>3</sup>)

## 6. 取組結果と評価

R7.4.1

### 1. 実績と評価

運用期間(令和6年4月～令和7年3月)

活動内容	令和5年度実績	令和6年度目標値	令和6年度 4月～3月実績値	活動実績 (目標値との比較)	評価
二酸化炭素排出量 削減	630,414kg-co <sub>2</sub>	875,922kg-co <sub>2</sub>	828,670kg-co <sub>2</sub>	目標値比 5.39%削減 -47,252	○
化石燃料使用量の削減 (軽油・ガソリン・灯油)	181,284L	249,364L	238,415L	目標値比 4.39%削減 -10,949	○
電気使用量の削減 (排出係数 北海道電力料) 0.64)	271,157KWh	389,593KWh	354,826KWh	目標値比 8.92%削減 -34,767	○
水道使用量の削減	617m <sup>3</sup>	1,842m <sup>3</sup>	1,191m <sup>3</sup>	目標値比 35.34%削減 -651	◎
産業廃棄物排出量削減	受けた産業廃棄物は100%再資源化の為、削減不可のため目標設定していない				
化学物質使用量削減	使用しておらず削減不可のため目標設定していない				

【評価区分】◎・・・ 10%以上削減                      ○・・・ 10%未満～0%未満削減  
 △・・・ 0%未満～10%未満増加                      ×・・・ 10%以上増加

### 2. 活動計画実施内容とその評価・次年度の取組内容

#### 二酸化炭素排出量の削減・化石燃料使用量削減

CO<sub>2</sub>排出量は828,670kg-CO<sub>2</sub>となり、計画比5.39%削減となる。  
 年度変更に伴い期間短縮となり、以上の数字となる。

化石燃料に関しては、前年と比べ灯油・ガソリン、軽油の全て減となった。

#### ・灯油

灯油使用量は、前年度111,020ℓ、今年度128,963ℓと、17,943ℓ増となった。  
 運用期間が前年度より短かったこともあり、今回は増加という結果であった。  
 爆発的に増加傾向という訳ではなく、目標値よりも下回り5.39%の削減という結果だったので  
 環境へ配慮した運転を心がけ使用量を削減できるよう社員に徹底させる。

#### ・ガソリン

ガソリン使用量は、前年度6,478ℓ、今年度7,730ℓとなり1,252ℓ増となる。  
 灯油同様に前年度と今年度の運用期間の違いが要因の一つである。毎月の増加となっている訳ではなく  
 業務量に応じて増減していることから、削減の余地があると考えられるので。  
 引き続き環境へ配慮した運転を心がけ燃費向上を社員に徹底させる。

#### ・軽油

○ダンプの使用量は前年度52,195ℓに対して今年度74,512ℓと22,317ℓと大きく増加となった。  
 外注による運搬も増えているが、自社回収および運搬も増えており  
 運搬・回収等での往復など距離等が増加したことによりこの結果となった。  
 今後も環境に配慮した運転を意識し、減少していくよう務める。  
 ○塵芥車の軽油使用量は、前年度20,196ℓに対して今年度27,210ℓと、7,014ℓの削減となった。  
 運用期間の違いでの増加であり、年間ベースで考えると大きく増加している訳ではないので  
 業務上、停車、発進の繰り返しのが難しいところはあるが、環境を意識した運転を心掛け削減に努めていく。  
 今後も、発進時のアクセルの踏み方等使用量削減出来るように務める。

#### ・電気使用量の削減

全体の結果としては目標値に対して8.92%の削減となった。  
 バイオガス施設は、適正温度を維持し適切な運転を行っており、今後も適切な運転を務めるようにする。  
 事務所・工場においては使用量が大きく削減は難しいものの、今後は少しでも削減出来るよう一層の努力を期待する。

#### ・水道使用量の削減

施設等の安定した運転によって、通期で目標値を超えることなく推移でき、  
 その結果、目標値1,842m<sup>3</sup>に対して、今年度は1,191m<sup>3</sup>、前年比64.65%の削減となった。

## 7. 代表者による全体の評価

### 取り組み状況の評価

#### ① 化石燃料使用量削減

今回の数値に関しては、あまり比較評価しづらいデータではありましたが、前年度同様環境と安全意識を持ち合わせながら、工場、車両ともに運用されていたと思います。今後も職員全員で自分たちで出来る削減努力の中で、小さな事でも自分たちで出来る事を見出し行動していただきたいと思います。 毎回コメントしますが、コンプライアンスは重視した中ででの運用をお願いします。

#### ② 二酸化炭素排出量削減

工場に関してはどうしても業務を遂行するにあたり、二酸化炭素の排出は抑制が難しいところではあると思います。ただ、その中で、法で決められた基準はしっかり遵守されており、苦情もなくしっかり環境重視された状況の中、最小限の排出抑制努力はなされていると思います。また車両、特に委託塵芥車に関しては、常にコースの見直しや、デジタコも運用させながら、しっかり排出抑制を念頭に置いた事業活動が遂行出来ていたと思います。

#### ③ 電気使用量削減

電気使用量の削減はバイオ施設においては前年度に引き続きしっかり運用出来ていたと思います。今後は工場、事務所ともに例え小さな削減努力項目であっても従業員一人一人拾い出しをし、良いものであれば実践、行動してみてもいいかもしれません。

#### ③ 水道使用量削減

劣化による漏水による使用量が多かった前前年度からの、前年度実績からしっかり削減されていた数値になっていると思います。今後も施設、車両の清掃美化を実践させながら、使用量削減を実践していただける事を望みます。

### 環境方針

朝礼時の環境方針唱和は欠かさず継続していく。現在環境方針5項目の1項目づつを毎日1項目を月・火・水・木・金に当てはめ張り出し唱和している。

### 関係法令遵守状況

主な関係法令：廃棄物処理法、消防法、肥料取締法、飼料安全法、食品リサイクル法、大気汚染防止法、苫小牧市環境基本条例、苫小牧市公害防止条例施行規則、製造責任法、労働安全衛生法、フロン排出抑制法等ばいじん測定の法令測定を年2回、自主測定を年2回行い、合計年4回の測定を行い、法令遵守の確認を行っている。当局関係より違反等の指摘はありません。昨年同様に不安要素と不明点は、速やかに関係諸官庁へ相談と指示を仰ぐ体制は変わることな行動していく。

## 総括

苫小牧市との公害防止条例に伴い定期的に自主測定を実施しておりますが、工場運転のマニュアルに沿った安全、且つ環境に準じた運転を行っていることにより、苦情もなく、基準値の数値もしっかり守られていることが認知され、今では苫小牧市（保全課）との信頼も良好な関係性を構築出来ております。一方燃料（工場、車両）、電気・水道に関しても職員全員が法の遵守に沿った中で、節減の意識をしっかりと持ち合わせた結果、削減にも繋げていただいております。今後も業務に大きく支障の出ない範囲で環境活動に従事していただければ、ありがたいと思う次第です。